

バスに乗って、出かけよう。



# Happy Ride in Shizuoka Project



～2025小学生バス無料デーの実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会  
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)

# 背景と目的、目指す姿

## 背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な**乗合バス利用者の減少**
- ・**バスドライバーの高齢化**による運転手不足への危機感



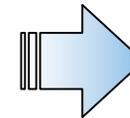
## 目的

- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、**社会全体で「乗って残す」意識を啓発**
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減

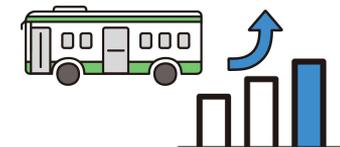


## 目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに乗せたいと思う保護者の増加



**バス利用頻度の増加**



# 2024実施結果

## 概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、  
**県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した。**  
**(小学生を対象とした全県規模の実施は全国初)**

| 項目     | 内容  |
|--------|---|
| 対象者    | 静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名<br>(国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童)                                  |
| 実施日    | 令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間  |
| 対象のバス  | 静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス<br>(土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)                                     |
| 主催     | ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置)<br>構成員: 国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者<br>事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課 |
| オブザーバー | 静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター   |

# 2024実施成果と課題

## 成果

- ◆無料デー当日のバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加（子どもの利用者は前週、翌週の約4倍）
- ◆バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない（今までに3～5回以下）小学生が44%、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%を占めた
- ◆今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占め、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ◆バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答、満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最多
- ◆バスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答（資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果）

◆普段マイカー利用が多い小学生及びその保護者が、無料デーにバスを利用する等、バス利用の体験機会を提供することができた

◆バス利用の呼びかけや小学生アンケートの実施により、バスへの意識や関心を高めることができた

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

**将来に向けた更なる利用促進にも繋がる取組であり、効果検証しながら続けていくことが必要**

# 2024実施成果と課題

## 課題

### ◆小学生の約4割が無料デーを「知らなかった」と回答

(回答者かいなかった小学校は更に認知度が低い可能性あり)

### ◆情報入手経路は、小学生、保護者等とも学校を通じて知った人が大半

### ◆当日、リーフレットを忘れた人や無料デーを知らない人が多数存在

### ◆バス運転士が不足している状況については、7割以上の保護者等が認知、小学生の認知度は半数以下

(資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)

◆学校から児童（保護者）への周知方法の工夫・改善や、学校以外の情報入手経路を強化する必要性

◆無料デーの実施によるバス利用の意識、行動の変化の継続的な測定及び検証

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

**一過性のイベントで終わらせないために、持続可能なスキームの構築の必要性**

# 2025バス無料デーの新たな取組

## 内容

### 広報強化

- ◆無料デー特設サイトの開設
- ◆周知用掲示物（ポスター等）の作成
- ◆実行委員会構成員による一体的な広報の実施  
（一斉プレスリリースの実施、車内広告、子育て支援施設、自治会回覧板等での周知等）
- ◆バスの日と連動した無料デーの告知
- ◆大型商業施設等への広報協力依頼  
（例：イオン、ららぽーと、サントムーン、コンビニ各店舗等）

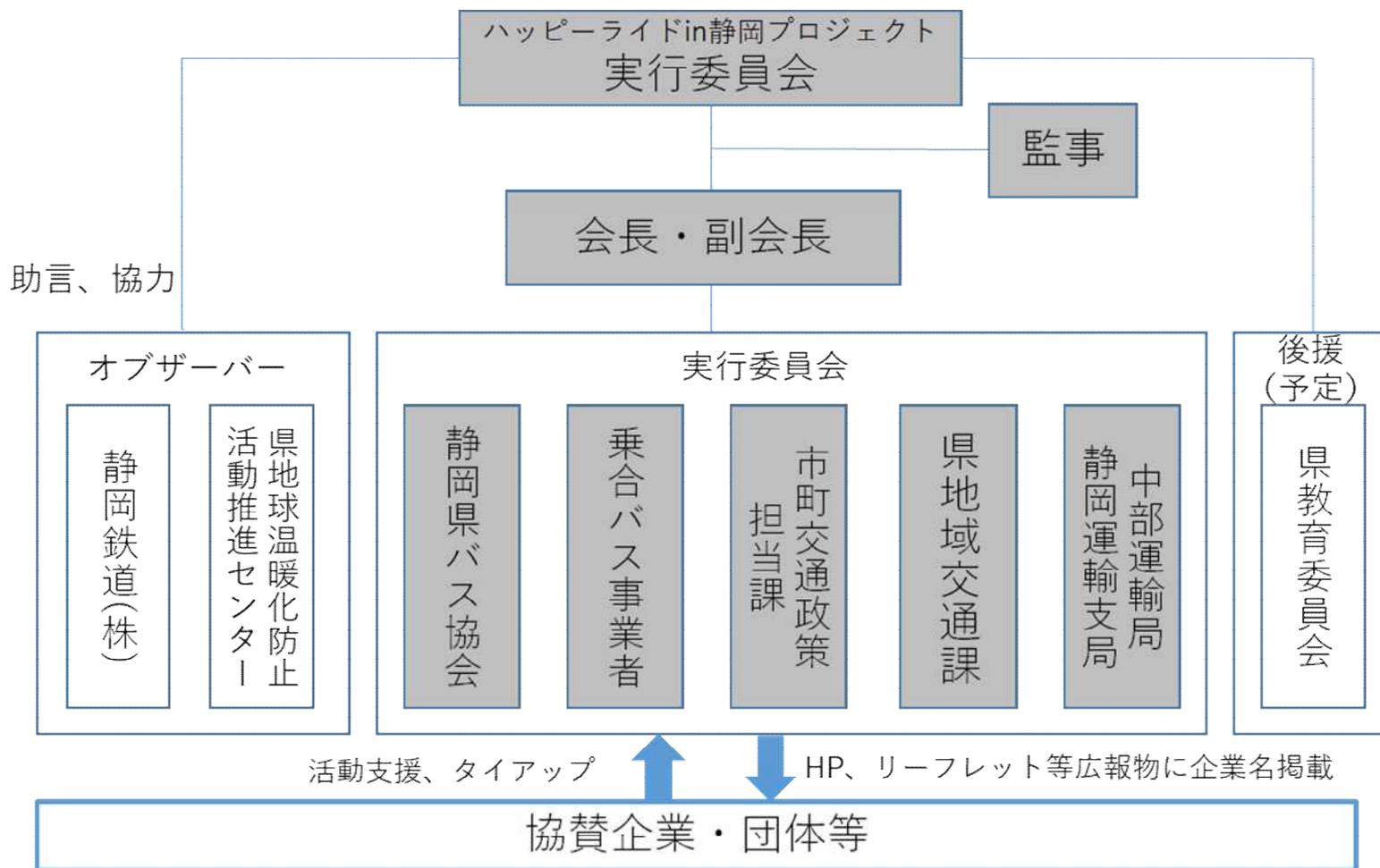
### 実施体制

- ◆プロジェクトへの協賛企業・団体（スポンサー）の募集
- ◆教育委員会の後援名義取得

### 学校との連携強化

- ◆授業での活用を依頼  
（教材提供※～リーフレット配布～無料デー利用によるバス乗車実体験～WEBアンケート）
  - ◆県校長会理事会での協力依頼
- ※バスの乗り方やマナーを学べる動画を作成予定

# 2025バス無料デーの実施体制(組織図)



# 2025実施計画

| 項目      | 内容   |
|---------|--|
| 対象者     | 静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名<br>(国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童) ※R6実績を仮置き                        |
| 実施日     | <b>令和7年12月13日(土)～14日(日) 2日間</b>  |
| 利用方法    | リーフレットをバス運転士に提示  |
| 対象のバス   | 静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス<br>(土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)                                      |
| 主催      | ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置)<br>構成員: 国、県、市町、(一社) 静岡県バス協会、乗合バス事業者<br>事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課 |
| オブザーバー  | 静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター  |
| 協賛企業・団体 | <u>(今後、募集)</u>   |
| 後援      | <u>県教育委員会(今後、名義取得予定)</u>   |

# 実施計画(案) スケジュール

| 月日                 | 内容   |
|--------------------|--|
| 5月12日              | 実行委員会（第1回）の開催、実施計画の決定                                      |
| 5月中旬               | 各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を发出<br>※4/25県校長会理事会での説明済（県）           |
| 5月下旬～              | 市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）                             |
| 6月～                | 実施路線の特定、タイアップイベント企画の募集                                     |
| ～8月下旬              | 周知用広告物の作成配布、特設サイト公開  |
| <b><u>9月中旬</u></b> | <b><u>プレスリリース①（バスに日に合わせた一斉広報）</u></b>                      |
| <b><u>11月</u></b>  | 各学校経由で小学生に無料デーリーフレットを発送<br><b><u>プレスリリース②（直前の一斉広報）</u></b> |
| 12月13～14日          | 小学生バス無料デーの実施、タイアップイベントの実施                                  |
| ～2月                | 利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討                              |